



2021年2月期 決算説明会



1. 決算ハイライト
2. 2020年度 取組み
3. 2021年度 方針
4. 2022年2月期 連結業績予想



1. 決算ハイライト



2. 2020年度 取組み



3. 2021年度 方針



4. 2022年2月期 連結業績予想

●2020年度決算総括

- ✓ 上場来営業収益は16期連続増収、過去最高を更新
- ✓ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は上場来過去最高を更新
- ✓ 新規出店8店舗（静岡3、愛知4、神奈川1）
- ✓ 既存店の改装10店舗で実施
- ✓ 内食需要、節約志向の高まりへの対応
- ✓ 既存店売上高前期比105.5%
- ✓ 地域の生産者さまの応援を目的に、地産地消推進セールを実施

●2021年度通期業績見通し

- ✓ 2019年度比営業収益27.4%、営業利益34.3%増加の予想
- ✓ 内食需要の高まりは一定程度継続と想定するものの、昨年並みの需要の高まりはなく、また、景気の悪化による厳しい経営環境を想定

- ・増収増益、過去最高を更新
- ・国内スーパーマーケット事業が堅調に推移

(単位：百万円、%)

	2020年2月期	2021年2月期	前年同期比
営業収益	271,517	355,904	131.1
売上高	266,849	349,458	131.0
営業利益	7,150	11,726	164.0
経常利益	6,955	11,744	168.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,937	5,302	180.5

- ・内食需要の高まりにより、既存店売上高伸長
- ・経費は営業総利益の伸び率以下に抑制

(単位：百万円、%)

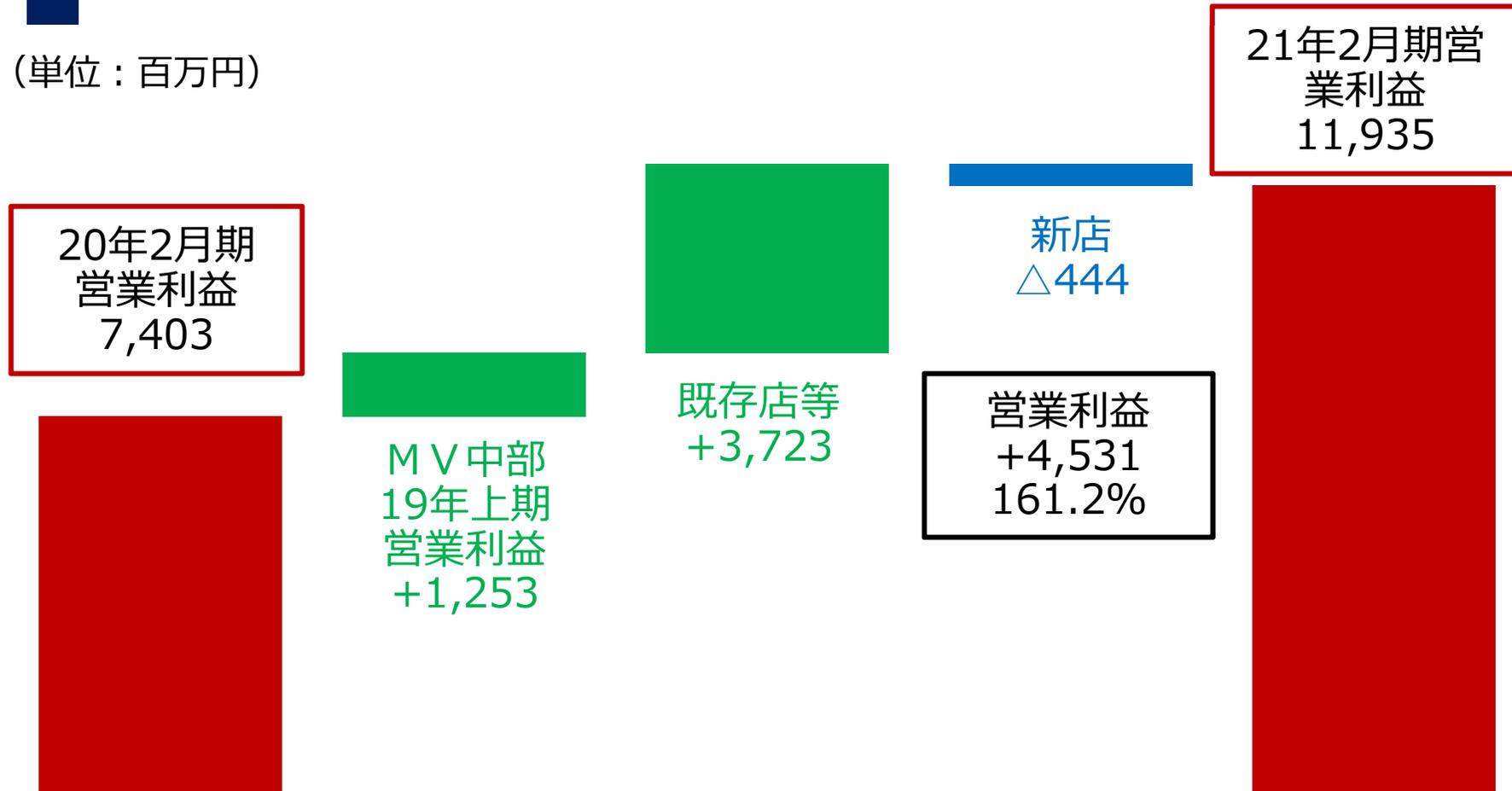
	2020年2月期	2021年2月期	前年同期比
営業収益	265,900	350,343	131.8
売上高	261,580	344,089	131.5
営業利益	7,403	11,935	161.2
経常利益	7,260	11,993	165.2
当期純利益	2,258	5,091	225.5

(単位：百万円、%)

		2020年2月期末実績 (構成比)		2021年2月期末実績 (構成比)		前年同期 比増減
資産	流動資産	51,164	42.7	61,685	47.2	10,521
	固定資産	68,693	57.3	69,128	52.8	434
	資産合計	119,857	100.0	130,813	100.0	10,956
負債純資産	流動負債	40,058	33.4	46,522	35.6	6,463
	固定負債	9,134	7.6	10,012	7.6	877
	負債合計	49,192	41.0	56,534	43.2	7,341
	純資産	70,664	59.0	74,279	56.8	3,615
	負債純資産合計	119,857	100.0	130,813	100.0	10,956

- ・内食需要の急激な高まりに対応し、経営統合による増加を上回る営業利益改善

(単位：百万円)



- ・重点出店エリア (※) へ 6 店舗の新店含む 8 店舗の新規出店
- ・店舗新装開店に伴う閉店 3 店舗含む 4 店舗閉店

(店舗)

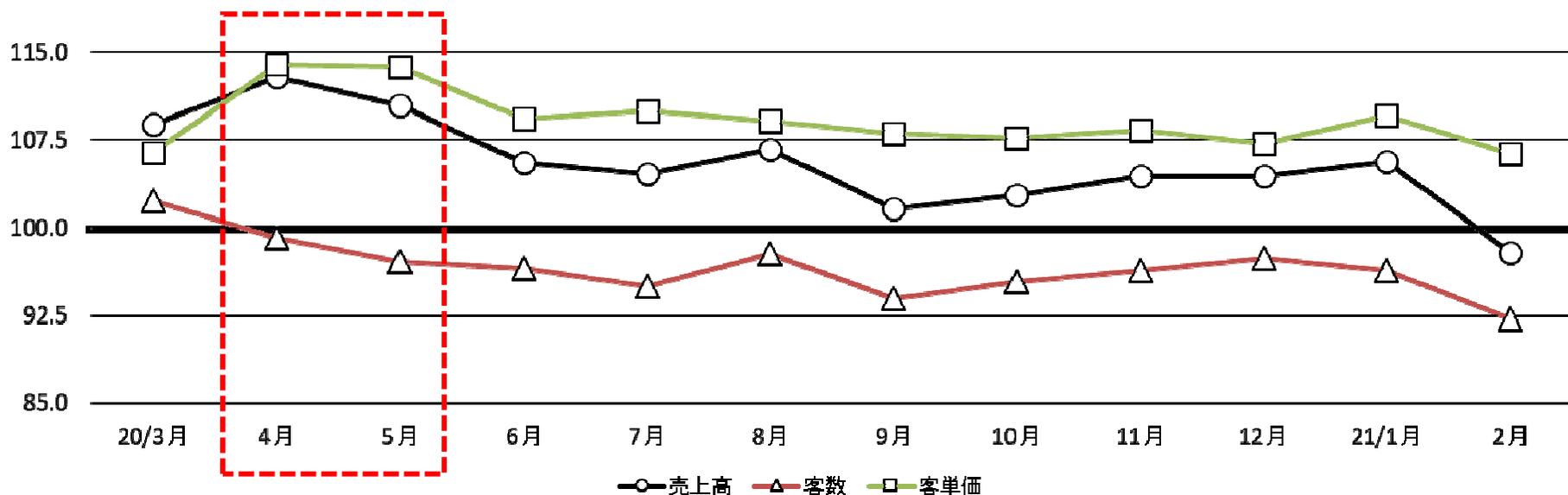
	静岡	愛知	三重	岐阜	滋賀	神奈川	山梨	国内計
20年2月期 期末店舗数	100	48	46	8	6	16	1	225
新店	3	4				1		8
閉店	2		1			1		4
21年2月期 期末店舗数	101	52	45	8	6	16	1	229

※愛知県三河エリア、静岡県中西部



- ・既存店売上はうるう年の影響がある2月を除く15カ月連続クリア
- ・下期以降売上伸長は鈍化トレンド

既存店	上期	下期	通期
売上高前期比	108.1%	102.8%	105.5%
客数前期比	98.0%	95.3%	96.7%
客単価前期比	110.4%	107.9%	109.1%



- ・M V 江蘇の解散を決議
- ・デリカ食品のオリジナル商品の供給エリア拡大

中国事業

- M V 広州
- ✓ 行動様式変化への対応
- ✓ デジタル化の推進
- M V 江蘇
- ✓ 2 店舗閉店
- ✓ 3月解散決議、清算開始

2021年2月末店舗数

MV広州：6 店舗

MV江蘇：0 店舗

デリカ食品

- ✓ 供給エリアの拡大
- ✓ 新規、リニューアル商品開発



こぼれおはぎ



鯖のバッテリー寿司

1. 決算ハイライト

2. 2020年度 取組み

3. 2021年度 方針

4. 2022年2月期 連結業績予想

エリアシェア拡大

- ・静岡県 3 店舗、愛知県 4 店舗、神奈川県 1 店舗
合計 8 店舗新規出店
- ・既存店 10 店舗の改装

Eコマース

- ・ネットスーパー 6 店舗新規開設
- ・ネットショップの拡大

商品力の強化

- ・じもの商品開発
- ・ちゃんごはん商品開発

With コロナ対応

- ・じもの応援企画の開催
- ・“おうち時間”の有効活用のご提案
- ・感染拡大防止対策の徹底

環境・社会貢献 活動

- ・ありがとうキャンペーンを愛知県、三重県で開始
- ・Smart 募金の開始

- ・重点出店エリア愛知県三河、静岡中西部エリアに6店舗出店
合計8店舗の新規出店により、売上の拡大

2020年10月9日開店



マックスバリュ東海荒尾店
(愛知県東海市)



地元グルメ「トマせん焼きそば」



カゴメ様とサラダの新規商品開発

- ・静岡県西部エリア初となる小型店業態を出店
- ・便利で快適な地域に愛されるお店へ

2020年11月26日開店



マックスバリュエクスプレス浜松常盤町店
(浜松市中区)



地元農家直送の農産物



じもの商品の品揃えの拡充

- 10店舗の大型、中型改装を実施し、厨房機器、設備の更新



鉄板焼きの機器を新規に導入
店内製造の出汁巻玉子焼き



焼き鳥機を新規に導入
店内焼上げの炭火風焼き鳥

- ・岐阜県、神奈川県に初出店、合計 6 拠点の新規開設
- ・マックスバリュ岡崎美合店ではドライブスルー受取りも実施



- ネットショップ経由の売上は前期の約 2 倍
- じもの商品、じもの企画の拡充



熱海ほていや 蒸しパン



鳥羽国際ホテルチーズケーキ

- ・じもの原料を使用した商品開発
- ・管理栄養士監修「ちゃんごはん」の商品開発

じもの



西尾・静岡抹茶のミルクケーキ

毎日の食事を楽しく
ちゃんごはん



管理栄養士監修
「ゆず香る島豆腐サラダ」

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が減少した生産者さまを応援
- ・地域の活力を高めるじもの応援企画を実施



静岡県沼津内浦産養殖真アジの販売



三重のお土産応援セール

- ・ちゃんとごはん通信を通じた食生活に役立つ情報の発信
- ・“おうち時間”の有効活用をご提案



管理栄養士のオススメ!

余った切餅で！いつもと違う、アレンジ餅

～余った切り餅で～

アレンジ餅

管理栄養士のオススメ!

10月は食品ロス削減月間！

名古屋女子大学短期大学部とコラボ！春の新作パスタで食卓を華やかに♪

マックスバリュ東海

ちゃんとごはん

×

学友会 経理学部

名古屋女子大学短期大学部

家族で楽しむパスタレシピ

濃厚チーズソース

トマトソース

和風ペペロンチーノ

マックスバリュ東海では例年、名古屋女子大学短期大学部のみなさんとコラボレーションしたオリジナルレシピ開発に取り組んでいます。今回は、この春新たに誕生した家族で楽しむパスタ3品のおすすめポイントをご紹介します！

- ・各県にゆかりがある対象商品の売上の一部を寄付し、地域活性化に貢献する「ありがとう」キャンペーンを愛知県、三重県にて開始



愛知県ありがとうキャンペーン



三重県ありがとうキャンペーン

1. 決算ハイライト

2. 2020年度 取組み

3. 2021年度 方針

4. 2022年2月期 連結業績予想

地域自立の時代に貢献する体制構築に着手

コロナ下影響の想定

- On-line化の急伸
- 回帰
(国内・地域・家族)
- クリーン志向の向上
(安全安心・健康)

時代認識 = 課題認識の枠組み

普遍的課題

- ・エネルギー、水、食料、地政学リスク
- ・自然災害、気候変動、未知の疫病
- ・競争のボーダレス化

デジタル化社会 (急伸)

- ・経済の主戦場は情報に
- ・IT、AI、ロボット
- ・ゲノム、ナノ

コロナ下による変化

- ・経済、生活
- ・働き方
- ・抜本的な収束

課題認識に対する方向性

普遍的(既存)課題

- ・行施策の質的、量的拡充
- ・循環型事業への段階的チャレンジ
- ・強みの磨き上げによる競争優位の確立

デジタル化社会 (コロナ下により加速度向上)

- ・「新たな場」の創出
- ・「新たな方法」の創出 = 新たな購買「体験」
- ・働き方の見直し、生産性の向上に資する投資の実行

コロナ下による変化

- ・「回帰」「クリーン志向の向上」を形にするMD、営業スタイル
- ・食習慣、行動様式の急激な変化への備え
- ・先行き不安への対応

- ・2021年度スローガン “コミュニティファースト”
- ・これまで以上に地域を意識した事業運営



じものの販売を通じた地域活性化



食育講座の開催、店舗見学

提供価値
の最大化

- ・じもの ・ちゃんごはん ・トップバリュ
- ・ありがとうキャンペーン ・SDGsの推進

エリア戦略

- ・新店8店舗 ・小型店の出店エリア拡大
- ・改装18店舗 ・三河エリアの内部充実

商品力強化

- ・デリカの専門店化 ・オリジナル商品開発
- ・食のSPA化 ・PCの効率化

ECの拡充

- ・ネットスーパー新店6店舗 ・既存拠点の損益改善
- ・ネットショップ売上高+70%

働き方改革

- ・レジのリプレース ・マテハンの導入 ・RPA化
- ・厨房機器の更新 ・多能工

・地域自立の時代に貢献する「価値」の提供

地域自立社会への貢献



トップバリュ



地域・お客さまの課題解決



事業を通じた社会課題解決と成長の両立



当社に通じるSDGsの観点

- ・ S & Bによる既存エリアの収益力向上
- ・ 三重県に初となる小型店（エクスプレス）業態の出店を計画

新店・改装	計画
静岡県	3店舗（内小型店1店舗）
三重県	5店舗（内小型店4店舗）
改装予定	18店舗

2021年3月5日開店



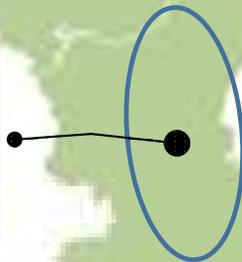
マックスバリュ浜松飯田店
（浜松市中区）

2021年3月25日開店



マックスバリュ菰野店
（三重県三重郡菰野町）

三重県
小型店
初出店予定



- ・じもの商品の販売、開発、育成の推進
- ・産学連携活動の推進

じもの商品大商談会2021 (Online)

2021年4月7日～28日の期間、地域食文化・伝統・風習を改めて発見する場とし、地域で生まれ・愛されている商品の開発、販売、育成を推進



※画像はイメージです

産学連携の取組み

各県の大学・高校との関係強化と拡大
地元とのつながりの深耕



管理栄養士を目指す学生さんと「ちゃんごはん弁当」の共同開発

- 名古屋学芸大学様 『知ってとくする豆知識弁当！！』
- 東海学園大学様 『秋の野菜まんぷく弁当』
- 鈴鹿医療科学大学様 『MA-KI-MA-KI 鈴華御膳』



- ・デリカの専門店化、オリジナル商品開発
- ・イオン商品調達との取組み拡大による利益改善

デリカの専門店化

「味」「品質」「こだわり」を持ったデリカ専門店へ進化

- ・「じもの」の生鮮食品、調味料を使用したオリジナル商品の開発
- ・外食・テイクアウトに勝る「おいしい商品」の提供
- ・無添加・無農薬商品の提供
- ・自社PCからの供給拡大

イオン商品調達(株)との取組み

- ①直取引
- ②商談の集約
- ③直輸入
- ④販促商談

一括商談でのコスト引き下げ
高品質・安価な商品を提供する機能



- ・サステイナブル、Vegetive（ベジティブ）、アレルギー対応
- ・トップバリュの販売拡大 売上構成比目標16.5%（+1.5ポイント）



<p>ケース側面に原材料等の表示をしています。</p>	<p>ボトルの上部に賞味期限を印字しています。</p>	
<p>ケース 【段ボールはFSC®認証紙】</p>	<p>ラベルレスボトル イメージ</p>	<p>キャップ イメージ</p>

トップバリュベストプライス
ラベルレス天然水



- ・ネットショップでのじもの商品、オリジナル商品による差別化
- ・日用品、雑貨、家具家電等のラインロビング
- ・店舗受取機能、チェックアウト機能の拡充による利便性向上



県名	商品の1例
静岡県	三ヶ日みかん
三重県	松阪牛
静岡県	あしたか牛
静岡県	干物、鮮魚セット



・楽天ID連携、ゲスト購入を可能とするシステムの再構築

- レジのリプレイスによるお客さまのレジ待ち時間の短縮と業務効率化
- キャッシュレスセルフレジの導入によるレジ関連業務の効率化

レジのリプレイス



お客さまレジ通過時間10秒改善

キャッシュレスセルフレジ



人時効率の改善

- ・冷蔵、冷凍ケースの自動検温・確認システムの導入
- ・ Gondroluuf の後付け、後付けスライド棚の導入

自動検温システム



年間約500時間/店舗 削減効果

Gondroluuf の後付け



年間約560時間/店舗 削減効果

- ・店舗業務の本社集約
- ・本社業務のRPA化



各店舗作業を本社に移管



管理部門

- ・伝票入力
- ・紙帳票入力
- ・定期報告業務

1. 決算ハイライト

2. 2020年度 取組み

3. 2021年度 方針

4. 2022年2月期 連結業績予想

- ・2019年度比営業収益+27.4% 営業利益+34.3%の予想
- ・既存店売上2019年度比102.1%

	通期連結業績予想			
	通期予想 (百万円)	前期比 (差)	2019年度 比 (差)	20年当初予想 比 (差)
営業収益	346,000	97.2%	127.4%	103.0%
営業利益	9,600	81.9%	134.3%	114.3%
経常利益	9,400	80.0%	135.1%	114.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,250	80.1%	144.7%	130.8%
一株当たり 当期純利益	117.08円	(▲28.99) 円	(+8.47) 円	(+27.57) 円
一株当り配当金	50円	(0) 円	(+3) 円	(+2) 円



想いを形に、「おいしい」でつながる。

本資料に記載されている業績見通し、事業計画、目標等の将来に関する事項は、当社が本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、一定の仮定をおいたもの、もしくは判断した見込みであります。

これらの仮定及び判断については、潜在的リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績または展開が異なる可能性があります。



マックスバリュ東海株式会社